

# 香港株式市場フラッシュ

## 成長性やディフェンシブ性を併せ持つ医療セクターに注目



リサーチ部 李一承

Tel: 03-3666-0707

E-mail: icheng.lee@phillip.co.jp

2021年4月20日号(4月19日作成)

### “バイオ市場として存在感が高まる香港取引所“

香港市場は世界的バイオテクノロジー市場として認知度が高まってきた。香港取引所が2018年4月、バイオテック企業、種類株式、セカンダリー上場に関する上場規定を変更。新規定の「Chapter18A」に基づく赤字バイオ企業(株価コードの後ろにBが付される)のIPO数が18年に5社、19年に9社、20年に14社、21年は3月末時点で3社と、合計31社が新規定に基づき香港市場でのIPOを果たした。このうち、新薬上市に伴う売上高の発生などにより既存の上場基準を満たした**百濟神州(6161)**、**信達生物(1801)**、**君実生物(1877)**の3社が普通株に切り替えられ、株式コードの「B」が取り外された。

#### 香港IPO新規定に基づくバイオテックのIPO社数・調達額推移

IPO(Chapter18A)	IPO社数	調達金額(億HKD)	平均調達額(億HKD)
2018年	5	184.56	36.92
2019年	9	160.68	17.85
2020年	14	403.62	28.83
2021年3月末	3	67.99	22.66
合計	31	816.85	26.35

出所: Ryanben Capital の公表資料を基にフィリップ証券作成

コンサル大手 Ryanben Capital 社のまとめによると、昨年12月24日時点での上場バイオテック企業28社は、上場後の騰落率がプラスの14社の平均上昇率が146.2%に上った一方、マイナスの14社の平均下落率が▲25.5%。また、20年の年間騰落率では、プラスの18社の平均上昇率が68.2%、マイナスの10社の平均下落率が▲12.6%。更に、今年年初から4月9日までの騰落率では、今年の新規上場3社を加えた31社の内、プラスの14社の平均上昇率が52.0%、マイナスの17社の平均下落率が▲13.9%となった。莫大な研究開発費が重荷となるバイオテック企業の黒字化が見えにくいなか、投資家による期待買いが先行し、今年2月中旬以降に調整色を強めている香港市場の中でバイオテック企業のパフォーマンスが一際目立った格好だ。

#### バイオテック企業2021年上昇率上位10社一覧

バイオテック 4月9日時点	コード	時価総額 (億HKD)	4月9日の引 け値(HKD)	21年の 上昇率(%)	IPO後の 上昇率(%)
開拓薬業	9939B	123.8	33.5	220.3	66.3
諸輝健康	6606B	257.2	59.9	124.7	124.7
康希諾生物	6185B	828.5	334.8	89.7	1421.8
永泰生物	6978B	86.9	16.9	51.3	53.5
康方生物	9926B	435.9	53.4	40.4	229.7
諸誠健華	9969B	283.4	18.9	40.2	111.2
君実生物	1877	654.4	75.0	32.0	287.0
藥明巨諾	2126B	134.4	34.1	29.4	43.3
心通医療	2160B	355.7	14.8	21.6	21.6
雲頂新耀	1952B	237.1	80.9	19.4	47.0

出所: Ryanben Capital の公表資料を基にフィリップ証券作成

### “ハンセン香港上場バイオテクノロジー指数(HSHKBIO)とは?”

2019年12月、香港市場の各種株価指数を算出するハンセン指数公司(HSI)は「ハンセン香港上場バイオテクノロジー指数(HSHKBIO)」をリリースした。医薬品、バイオテック、医療保健設備の3つカテゴリーから成る同指数における構成銘柄数や指数ウェイトがそれぞれ、58%(22銘柄)、33%(22銘柄)、10%(7銘柄)である。また、指数に組み入れられたバイオテック22銘柄のうち、株価コードに「B」が付く赤字のバイオテックが15銘柄を数え、同指数に占めるウェイトが12.5%となった。

### ハンセン香港上場バイオテクノロジー指数の指数ウェイト上位10社

ウェイト上位10社	コード	カテゴリー	指数ウェイト(%)
藥明生物	2269	バイオテック	11.0
京東健康	6618	医薬品	9.4
信達生物	1801	医薬品	8.0
中國生物製藥	1177	医薬品	7.6
阿里健康	241	医薬品	7.6
石藥集團	1093	医薬品	6.8
翰森製藥	3692	医薬品	3.7
藥明康得	2359	バイオテック	3.5
微創醫療	853	医療保険設備	3.1
威高股分	1066	医療保険設備	2.7

出所: HSI の公表資料を基にフィリップ証券作成

### “中国医療市場が当面拡大へ“

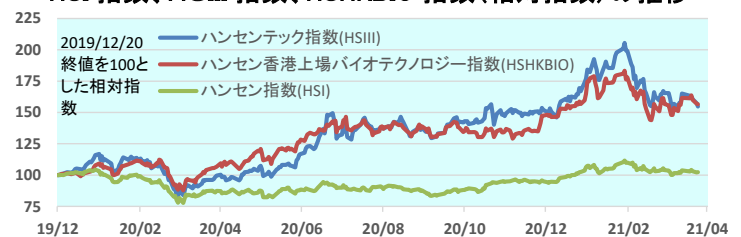
都市化や少子高齢化が進む中国では医療市場が急拡大している。国務院が16年10月に発表した「健康中国2030計画」には、「健康最優先」、「改革・イノベーション」、「合理的な発展、公平・公正を原則」とし、「協力・共有、全国人民の健康」との4つの基本方針のほか、医療サービスの市場規模を20年の8兆元に対し、30年に16兆元への倍増目標が盛り込まれている。OECDの公表統計によると、18年の1人当たりの医療費(GDPに占める医療費の割合)では、米国が11,172ドル(17.7%)、日本が4,766ドル(10.9%)であるのに対し、中国は500ドル(5.3%)にとどまっていることから、中国医療市場の拡大余地が大きいとみられる。

### “高い成長性とディフェンシブ性を持つ医療保健セクターに注目“

ハンセン香港上場バイオテクノロジー指数のリリース後の騰落率は、今年2月中旬に最大で83%の上昇率を示し、足元でも5割強の上昇率で推移している。同期間のハンセン指数(HSI)の上昇率を大きく上回ったほか、ハンセンテック指数(HSIII)に比肩するパフォーマンスを見せている。

HSIは2月下旬に香港市場主要指数の見直しを行い、ハンセン指数における医療保険セクターの組み入れ銘柄数を現行の3銘柄から10銘柄へ増加させるとの見通しを示した。オンライン診療大手の**京東健康(6618)**や**平安ヘルスケア(1833)**、バイオ医薬品の**藥明康得(2359)**も早期のハンセン指数採用が期待される。そうしたなか、20年7月、**君実生物(1877)**が上海科創板へのセカンダリー上場を果たしたのち、**百濟神州(6161)**など複数のバイオテック銘柄も科創板へのIPOの方針を明らかにした。科創板では高いプレミアムで評価される傾向があることから、資金需要の大きいバイオテック銘柄による科創板進出が今後加速しよう。世界的にインフレ懸念が強まるなか、高い成長性やディフェンシブ性を持ち合わせている医療保険セクターへの注目が一層高まる。

#### HSI 指数、HSIII 指数、HSHKBIO 指数(相対指数)の推移



出所: Bloomberg よりフィリップ証券作成

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘  
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。